

3,500世帯の「宅配型クリーニング商品の購入費用調査」を公開。共働き世帯が牽引する洗濯市場の新需要とは？ 9月29日はクリーニングの日

ウェブメディア「宅配クリーニング&保管ナビ」(<https://www.clenin.info/>)を運営するカシオペイア株式会社（大阪府大阪市 代表取締役 山縣綾子）は、9月29日のクリーニングの日にちなみ、3,500世帯の購入実績に基づく「クリーニング商品の購入動向調査」を発表しました。

もくじ

1. 保管付きの宅配クリーニング費用調査
2. 縮小するクリーニング業界
3. 減る1世帯あたりの洗濯費用
4. クリーニング店離れの原因
5. 4年で4倍。増える宅配クリーニング店
6. 共働き世帯が牽引する新しい洗濯市場
7. 冬支度、衣替えには宅配クリーニングが便利

9月29日は「クリーニングの日」

このプレスリリースのお問い合わせはこちら

1. 保管付きの宅配クリーニングの費用を調査

【宅配クリーニング&保管ナビ <https://www.clenin.info/>】を参考にして購入された保管つき宅配クリーニングサービス（ドライクリーニングと衣類の倉庫保管がセットになった商品）3,500件のデータをもとに利用者の消費行動を分析しました。集計期間は2019年3月1日～2019年7月31日です。

※保管つき宅配クリーニングサービスとは、5点8,000円、10点15,000円という具合に依頼する衣類の点数で値段が決まっており、ドライクリーニングに加えて次のシーズンまで衣類を倉庫で保管してくれるサービスです。

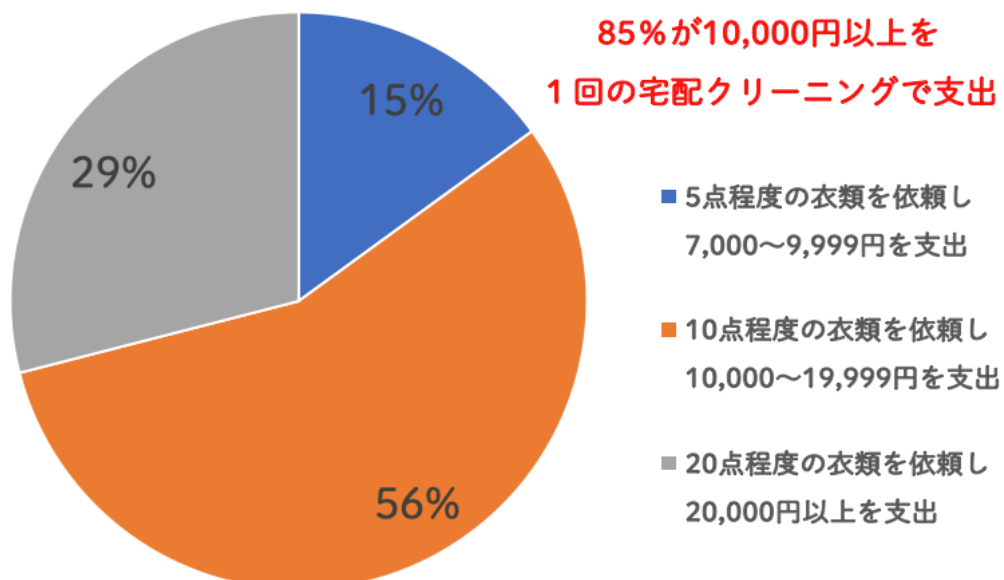
今回の調査では、「保管つき宅配クリーニングサービス」を利用した3,500件のデータから、1世帯あたりの同サービスへの支出は大きく3パターンありました。

- ① 5点程度の衣類を依頼し 7,000～9,999円支出した : 15%
- ② 10点程度の衣類を依頼し 10,000～19,999円支出した : 56%
- ③ 20点程度の衣類を依頼し 20,000円～支出した : 29%

なお、調査対象のうち最高額を支払った世帯の支出額は75,000円でした。これは衣類を一度に50～60点依頼した金額に相当します。

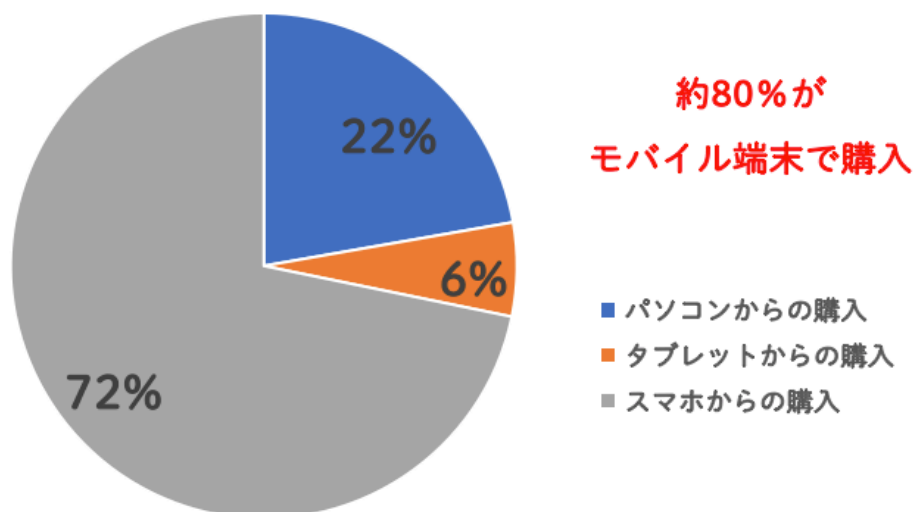
また、依頼品の中で1番人気なのは、コート・ダウンコート・ジャケットなどのアウター類でした。

1世帯あたりの保管つき宅配クリーニングへの支出額



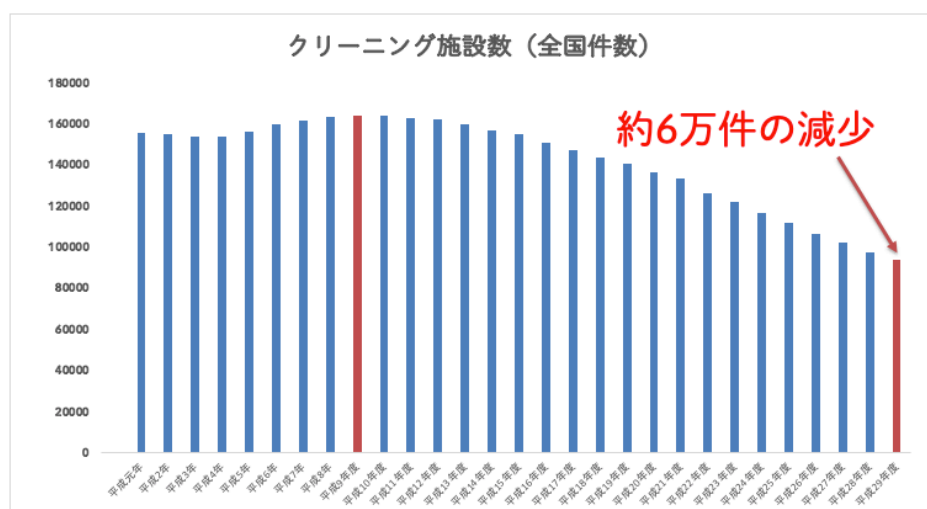
利用者が注文に使ったデバイスは、72%がスマートフォン、22%がパソコン、6%がタブレットでした。

宅配クリーニングの購入デバイス



2. 縮小するクリーニング業界

厚生労働省の「衛生行政報告例」によると、平成元年ごろに比べてクリーニング店は約6万店も減少しています。



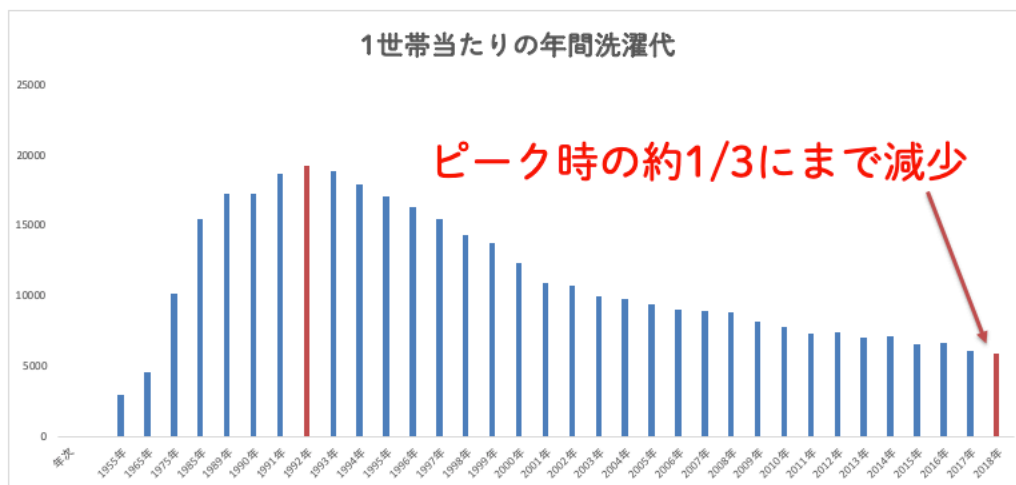
出典：厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室「衛生行政報告例」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>

出典：厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室「衛生行政報告例」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>

3. 減る1世帯あたりの洗濯費用

1世帯あたりの年間洗濯代は1992年の19,243円から2018年には5,904円と約1/3にまで減少しています。同調査が生活者の実態を完全に捉えているとは言えないかもしれませんが、クリーニング離れが起こっている現状は十分に見て取れます。



出典：厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室「衛生行政報告例」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>

出典：厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室「衛生行政報告例」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html>

4. クリーニング店離れの原因

厚生労働省の統計から見て取れる「クリーニング店離れ」の原因は多岐にわたります。

- ・クリーニング店に行く時間がない（残業などで営業時間内に行けない）

- ・クリーニングは重労働（スーツ上下数点で5kgにもなる！）
- ・クリーニング代金の節約（なるべく家で洗える服を着るなど）
- ・クールビズなど服装のカジュアル化
- ・形状記憶シャツや自宅で洗える背広の登場
- ・コインランドリーの増加
- ・洗濯機の高機能化
- ・近所のクリーニング店に満足できない（品質や価格）
- ・ほか多数

5. 4年で4倍。増える宅配クリーニング店

【宅配クリーニング&保管ナビ <https://www.clenin.info/>】では、2015年から宅配クリーニングの商品プランを「ワーキングマザーや主婦」が実際に利用した結果と感想に基づき比較調査を行っています。

調査を開始した2015年ごろ、宅配をとまなうクリーニングサービスを開発し積極的に広告投資をしている会社は5~6社でした。彼らは爆発的な数の商品を販売し、それを見た会社が新規参入。2019年には20社ほどと約4倍にも増えました。

宅配クリーニングの登場で、消費者は「自宅にいながらクリーニングを依頼できる」「家事効率化で家族の時間は増える」「高級品が得意、着物専門、しみ抜きがうまいなど、ニーズを満たすクリーニング店が近くになくても利用できる」などのメリットを得られるようになりました。

6. 共働き世帯が牽引する新しい洗濯市場

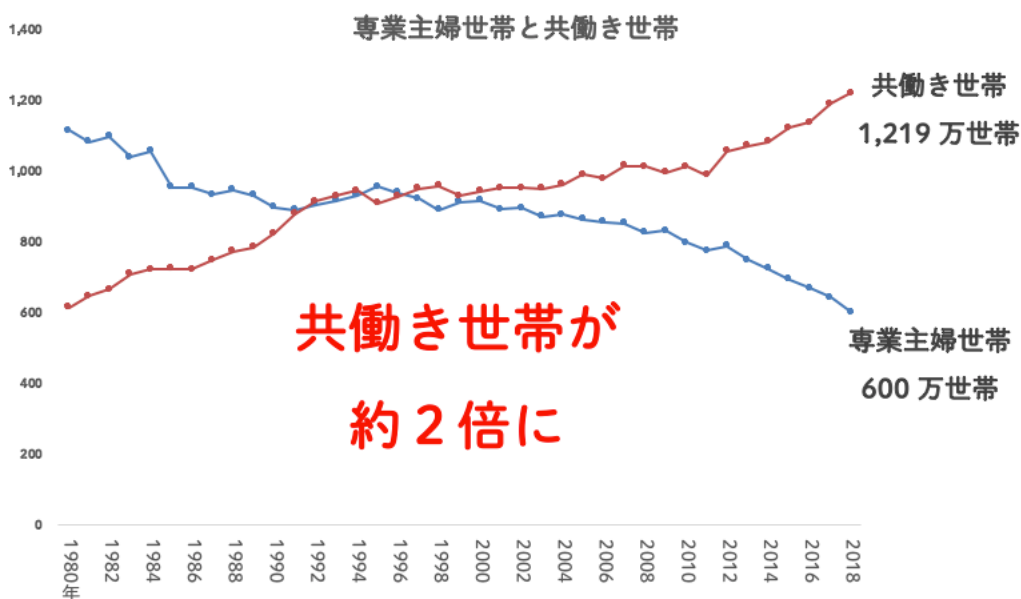
縮小の一途をたどるクリーニング業界に対し、宅配クリーニングは爆発的に利用者が増えており、その支出額も多いです。

今回の調査では、1世帯あたり7,000円～20,000円のお金がクリーニングに支出されました。政府の統計の2018年の結果である5,904円/年の約1.2倍～3.4倍のお金を「1世帯が1回の宅配クリーニングに使った」こととなります。

宅配クリーニングの需要を牽引しているのは共働き世帯です。当サイトを参考にしている読者の方の7割は女性であり、宅配クリーニング会社数社へのアンケートでも7割程度の利用者が女性という回答を得ています。

また、購入者の85%が10点～20点程度衣類を依頼できるプランを選んでいることから、家族全員のコートなどを女性主導で依頼していることが分かります。

内閣府「男女共同参画白書」によると2018年には共働き世帯が1,219万世帯あり、専業主婦世帯600万世帯の2倍になっています。「共働きをしながら（現状は主に）女性が5～10Kgにもなるコートやスーツを抱えてクリーニング店に出向く」時間を取れないことの打開策として宅配クリーニングが利用され、家庭の余裕時間が捻出されています。



出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構 専業主婦世帯と共働き世帯より
<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/timeseries/html/g0212.html>

7.冬支度、衣替えには宅配クリーニングが便利

秋冬が目前です。夏物の「しまい洗い」と「衣替え」を楽に終わることができ
る保管つき宅配クリーニングは、忙しい共働き世帯の時間・ところ・お金に効
くため人気が年々高まっています。

宅配クリーニングを共働き夫婦が選ぶ理由

- ・衣替えの手間が激減（箱につめて送るだけ）
- ・自由時間が増える（重い衣類を持ち運び、店頭で並ぶ手間ナシ）
- ・安いクリーニング代金（コートは一般クリーニングの約半額にも！）
- ・スッキリするクローゼット（翌シーズンまで倉庫で預かってくれる）
- ・無料のしみ抜き（対面できないので無料でシミを抜く会社が多数）
- ・オフシーズンに衣類がカビる・虫食いリスクの回避
- ・ほか多数

※9月29日は「クリーニングの日」

秋冬ファッションの出番が本格化するこのタイミングに設定されている
9月29日の「クリーニングの日」。クリーニング師の技術の良さを利用者の方
に知ってもらうために全国クリーニング生活衛生同業組合連合会
<https://www.zenkuren.or.jp/> が昭和57年（1982年）に制定されました。

このプレスリリースに関するお問合せはこちら

「宅配クリーニング&保管ナビでは人気の保管付きクリーニング店をワーママ
&主婦の実体験に基づいて特集しています。詳しくはこちらのページをご覧ください。<https://www.clenin.info/>

カシオペイア株式会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3丁目6-2 大雅ビル10階

広報担当者：山縣（080-3721-5681）

URL：<https://kassiopeia.co.jp/>

メール：<https://kassiopeia.co.jp/>

お問合せフォーム URL：<https://www.clenin.info/unei/>